



人権授業参観・講演会ご参加ありがとうございました。

9月22日（金）に人権授業参観と人権講演会を実施しました。多くの保護者の方にご参加いただき、本当にありがとうございました。5限目の授業参観では人権をテーマに各学年で工夫を凝らした授業を観ていただきました。

1年生では「だれのせんたくもの」というテーマで、気づかないうちに刷り込まれている「男のもの」「女のもの」という固定概念に気づき、性別に縛られずに自分が好きなものを選択することや、それを認めることの大切さを知る授業を行いました。

2年生ではマンガのキャラクターを使い、相手の気持ちを考えた話し方をする大切さについて考えました。同じことを言っている、どんな言い方をすれば聞き手がいやな気持ちにならないかなどについてみんなで考えました。

3年生では「だれでしょうクイズ」を行いました。友だちのことをしっかりと考える機会にもなり、とっても盛り上がりました。楽しそうに友だちのいいところを考え、そして自分のことを考えてもらえる嬉しさを感じていました。

4年生では「心をつないで」というテーマで言葉を使わず心をつないで、協力して一枚の絵を完成させる授業を行いました。相手の気持ちや考えを汲み取りながら、協力してひとつのものを創り上げる過程でさまざまなことを感じ、学びました。

5年生では「みんながわかるマーク作り」に取り組みました。ユニバーサルデザインの考え方について理解するとともに、誰もが暮らしやすい環境づくりの大切さに気付く授業を行いました。さまざまに工夫されたピクトグラムが創られました。

6年生では「いじめ問題」を解決するために必要なこと、自分たちができることについて真剣な意見交換が行われました。きれいごとではなく、実際に自分がその立場に立たされたら何を思うか、何ができるかということについて最高学年らしく真剣な討論がなされました。

その後の人権講演会では松阪市教育委員会より川合先生にお越しいただき、SNSトラブルの具体例を中心にご講演をいただきました。ソフトな語り口でわかりやすく身近に潜む危険や、SNS特有の危うさについてお話しいただきました。たくさんのご参加、本当にありがとうございました。



新体力テストの結果のお知らせ

今年度も、子どもたちの運動能力や基礎体力を全8種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ）の内容で測定しました。新体力テストは子どもたちの苦手な面を把握し、有効な改善方法を模索するために行います。各自の結果につきましては夏休み前にお配りしました「体力認定証」をご確認ください。

朝見小学校全体の傾向としましては、今年度は、全体的に「握力」「長座体前屈」の結果が特に高い傾向が見られました。「握力」は筋力を、「上座体前屈」は柔軟性を見るために実施される種目で、どちらも運動を継続的にしていくことで効果が現れていくものです。

昨年度の結果から、体育の授業では、必要に応じて基礎体力の向上を目指した5分程度の運動を取り入れてきました。これからも継続的に取り組み、子どもたちの体力が向上していくことができるよう目指していきます。

給食もひと味ちがいます！

災害時の非常食として、アルファ米や缶詰などを常備されているご家庭も多いのではないのでしょうか。朝見小学校では10月21日(土)のふれあい防災訓練の日に、災害時の食事のヒントとなる「防災給食」を実施します。

1 「非常食」のはたらきを知る

救援物資が届くまでには、およそ72時間かかると言われています。それまでの間に食べていのちをつなぐ、非常食について知る機会とします。

2 「非常食」を食べてみる

せっかく非常食があっても、食べたことがないと不安になってしまうかもしれません。今回は「救急ゴロゴロ野菜の煮物」を食べる体験をします。(全国学校栄養士協議会提供)

*訓練の日は、災害時の非常食についても家族でお話してみてください。